

第5回別府市公共施設再編計画検討委員会 議事録

日時：平成29年3月23日（木）10時30～11時30分

会場：別府市役所1階 レセプションホール

出席者：【別府市公共施設再編計画検討委員会委員】

福谷委員、井上委員、波多野委員、河野委員、幸委員

【事務局】

企画部長、公民連携室長 外3名

1. 開 会 省略

2. 議 題

(1)「別府市公共施設再編計画」に対する意見募集の結果および市の考え方について

(事務局説明)

省略

(質疑応答)

委員：来年度、住民向け説明会を開催し、子供世代からも意見を聞く方法等を検討することのだが、具体的に考えていることがあれば教えて欲しい。

事務局：今回作成した「別府市公共施設再編計画」はボリュームが多く、これを市民の方が読み込むにはかなりの時間がかかると思われる。来年度の説明会は校区単位での開催を予定しているが、リーフレットなどのわかり易い資料を作成したいと考えている。また、集約化・複合化する施設のエリア毎の個別計画については、今後、市民との合意を図っていくことになる。まず、来年度の説明会は再編計画について説明し、ご理解いただくような内容を予定している。

副委員長：住民合意という言葉が使われているが、住民全員の合意を得ることは極めて困難であると考え。多種多様な意見がある中、これらを適切に集約して、別府市民全体にとって何がベストなのか選択していかなくてはならない。

委員：30年後には人口が半減し、税収も大幅に減少する。別府市の将来像を、子ども達にきちんと理解してもらうことは大変だが、重要なことである。『子供世代』が、今後のキーワードになってくると思う。

事務局：合意形成を図るプロセスを大事にし、丁寧に進めていきたい。

(2)「別府市公共施設再編計画」の最終案について

(事務局説明)

省略

(質疑応答)

- 委員 : 各計画の相関図について説明して欲しい。
- 事務局 : 本委員会での議論を経て「適正配置計画」と「施設保全計画」の2つの計画からなる「別府市公共施設再編計画」を策定したあと、来年度以降は、具体的な取組みとして、本計画を基に集約化等の対象施設について「個別計画」を策定する。また、存続方針だが、耐震化対応していない施設を対象に平成29年度に「耐震化推進計画」を策定する予定である。どの施設から改修を行っていくかの優先順位をつける「保全実施計画」にも着手する。
- 委員 : この計画を実施していくのは非常に困難と思われるが、今後の推進体制や実務担当部署などは決まっているのか。
- 事務局 : 今年度、副市長・部長級で構成する庁内の「別府市公共施設マネジメント推進会議」を設置している。今後は、この会議が再編計画の実施と進捗管理をしていくことになる。その下部組織として、政策・財政・建設・教育など主要関係課で実務を調整することになる。
- 企画部長 : 公共施設マネジメントを推進していくためには、市民も職員も、意識改革が必要である。最近では、民間が運営するカフェがまちの支援センター的な役割を果たしている例も出てきている。これまでの行政に依存した行政中心の考え方から、民間の力・発想力を生かした市民中心の考え方に移行する時期が来ていると思う。
- 委員 : これまでも、ハコモノが出来ると「要望してもいないのに、何故、この場所に出来たのだろう」と思っていた人が多い。でも、せっかく造られたから使っていたものが、今度は壊されるという感覚はあるかもしれない。一方で、若い方から「似たような施設がたくさんあるが、使われていないことが多い。不要な施設は減らすべきでは？」との声も聞く。
- 委員長 : 再編計画は出来たが、今後、市民の理解を得て、実施していくのは大変な困難を伴うとは思われるが、がんばってもらいたい。
それでは、これをもって再編計画に関する当委員会での協議を終了したいと思います。よろしいでしょうか。
- 全委員 : 異議なし

(3)「別府市公共施設再編計画」の意見書について

(事務局説明)

省略

(質疑応答)

委員長 : 質疑も無いようなので、本意見書を当委員会の総意として市長へ提出をしたい。

全委員 : 異議なし

3. 閉会

委員長 : これで本委員会での協議事項は全て終了いたしました。

別府市公共施設再編計画検討委員会設置要綱第1条「今後の市が保有する公共施設の適正配置の方針及び施設保全の在り方について意見等を求めることを目的として、別府市公共施設再編計画検討委員会を設置する。」という役割を終えたいと思います。

皆様のご協力のおかげで、委員長の任も無事全うすることができました。ありがとうございました。皆様、大変お疲れ様でした。

以上